

日本キャリア教育学会研究推進委員会企画



第5回キャリア教育カフェ実施報告

2022年2月22日(火)19:00-20:40、今年度の最終回となる第5回キャリア教育カフェをオンラインにより開催いたしました。平日の夜間の開催でしたが、高等学校、高等専門学校、大学、企業など多方面から約20名の方々にご参加いただきました。今回は、学校現場のキャリア教育に造詣が深く、テーマ「高等学校におけるキャリア教育について語ろう」にふさわしい、松下眞治先生(元大阪市立西高等学校・放送大学修士選科生)、そして宮原清先生(福岡県立西田川高等学校)のお二人をゲストにお迎えしました。

前半は、お二人の先生方からそれぞれ話題提供をしていただきました。松下先生からは、タイトル「高校教員として取り組んだキャリア教育」の中で、これまでの実践やご研究、そしてキャリア教育実践における現在のお考えについてお話いただきました。特に、「保護者のためのキャリア教育」、「冒険的キャリア・パスポートの作成」という取り組みは他校でも活用可能であり印象的でした。宮原先生からは、タイトル「スクールカーストとキャリア発達—コミュニケーション効力感と学校システムに関する一考察—」の核心に迫る「コミュニケーションの『自信』が高まらない原因」を追究するという斬新で興味深い話題のあと、その知見に通底した「フレックス型単位制高等学校」創設の経緯についてのお話がありました。

後半のトークセッションでは、ご参加の方々から、「高等学校進学校での進学中心のキャリア教育の改善方法」、「大学での高大連携事業におけるキャリア教育の捉え方」、「退学に対する高等学校現場での捉え方」、「高校生がやりたい自分を考える場合の実践方法」などのご質問を受け本質的な議論がなされました。高等学校で行うキャリア教育の可能性と限界を改めて考える機会になりました。

アンケートでは、「様々な気づきを得る機会になりました」という主旨の感想を複数いただきました。ありがとうございました。ざっくばらんに本音で語れる場である当カフェは、今回のテーマのように「高等学校」という限定した枠組みを設定することにより、中身の濃い議論に発展する可能性があると感じました。

胡田裕教

(コーディネーター・研究推進委員会委員・滋賀県立大学)